

建築人

2023

2

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.704



建築人

2023.02 No.704

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

表紙の建築 「大東市公民連携北条まちづくりプロジェクト
「morineki」」2020年

第41回 大阪都市景観建築賞 大阪府知事賞 受賞作品
設計：ブルースタジオ・石本建築事務所設計監理共同体
施工：東周建設
撮影：blue studio、sotoaso

公民連携の事業手法で実現した、国内初の市営住宅建て替えプロジェクト。事業化以前にグランドデザインを先行し、テナントを先付け。民間の融資制度を活用し明確な事業計画のもと持続的なまちづくりが可能となった。全体が公園のように連続する、「境界」を感じさせないデザインとなっている。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「あいら齋場悠久の杜」
設計：環境技術研究所 眞野秀雄 濱口典彦
楠本菊實/Ks ARCHITECTS
施工：キョクヨウ・岩沢組JV

「せきすい齋苑」
設計：環境技術研究所 濱口典彦
楠本菊實/Ks ARCHITECTS
施工：原賀工務店

「ハイウィン神戸本社」
設計：大林組大阪本店一級建築士事務所
施工：大林組

「太子町の家」
設計：大西憲司設計工房
施工：笹原建設

8 動静レポート

9 Topics

10 インフォメーション・事業案内

12 Close-up Osaka

14 記憶の建築

「同潤会青山アパート」1927年/2003年解体
街並みを形づくる集合住宅の残影 / 松隈 洋

建築人 No.704 2023年2月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：荻窪伸彦(編集人代表)

委員長：松下典央

編集人：飯田英二 梅田武宏 笠井志保 河合哲夫

茂籠一之 大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義

三谷勝章 武藤優哉 若江直生

事務局：隅原正太 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和5年2月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今回は昨年末に死去された建築家の磯崎新氏を偲び大阪では数少ない建築を取り上げたい。

1990年に開催された「国際花と緑の博覧会」の施設として建てられた「大阪市立環境学習センター 生き生き地球館(旧国際展陳列館)」、写真はないが「大阪市鶴見スポーツセンター(旧国際展示水の館)」がある。大阪市立環境学習センターは、松下電器パビリオン(ふしぎな森の館・松下館)として建てられ、その後大阪市に寄贈された。小高い丘の上に計画された施設は、シンメトリックに20m跳ね出されたシンボリックな形状で驚かされる。また、大阪市鶴見スポーツセンターは4つの円形屋根で覆われた豊かな空間で構成されており、今もって地域に愛され利用される施設だ。

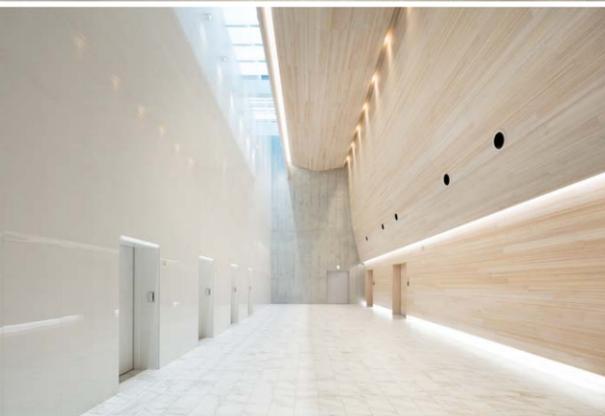
磯崎新氏は1931年大分県生まれで、東京大学数物系大学院建築学博士課程を修了。主な作品として「ロサンゼルス現代美術館」、「つくばセンタービル」、「なら100年会館」など多数あり、2019年にプリツカー賞を受賞している。

偉大なる建築家 磯崎新氏にご冥福をお祈りしたい。

Gallery

あいら齋場悠久の杜

設計：環境技術研究所 眞野秀雄 濱口典彦
 楠本菊實/Ks ARCHITECTS
 施工：キョクヨウ・岩沢組JV



始良市は鹿児島市と隣接しており近年人口の増加傾向にある。旧火葬場は老朽化により建て替えが急務になっていた。火葬場としてシンプルに、送る人々のメンタリティーを重要視して設計を進めた。桜島の降灰と風雨を避けるキャノピーの下に車寄せに到着し、告別の場としてのエントランスホール、炉前ホール、収骨室等はそれぞれのボリュームの中で「明暗」の空間をつくる。エントランスホールは地元産のメアサ杉、加治木石、龍門司焼きタイルによる「暗」の場とし、炉前ホールは天窓、白のタイル、メアサ杉による最後の別れの場として「明」となる。それぞれの室の中での儀式を行う場所として、要望と機能を充足している。
 (楠本菊實)

所在地：鹿児島県始良市
 用途：火葬場
 竣工：2017.03
 構造規模：RC造
 地上2階建
 敷地面積：5,826.94㎡
 建築面積：2,156.34㎡
 延床面積：1,972.38㎡
 写真：太田拓実

Gallery

せきすい齋苑

設計：環境技術研究所 濱口典彦
 楠本菊實/Ks ARCHITECTS
 施工：原賀工務店



熊本県北部の南関町と和水町の共同火葬場をリノベーションし、一部を増築する計画である。1983年完成の既存建物は小規模ながらも瀟洒な建築であるが長年の間に於いて雨漏りが酷くなり改修と、時代における機能の増設が必要になった。屋根からの雨漏り以外は既存の状態は良好であったので、まずは金属屋根によるカバー工法で建物をすっぽり包み込むことにした。その上で内部を全面リノベーションとした。増築部としての告別ホールと待合室は小国杉を使用した木造とし、エキスパンションジョイントで接続して機能を充足した。既存の建築を尊重し、各々のスペースに対してのリノベーションと最小限のエクステンションを接続して最後の別れの場に相応しい空間を求めていった。
 (楠本菊實)

所在地：熊本県南関町
 用途：火葬場
 竣工：2021.03
 構造規模：RC造、木造、鉄骨造
 地上2階建
 敷地面積：4,344㎡
 建築面積：838.68㎡
 延床面積：731.61㎡
 (既存：456.12㎡)
 (増築：257.19㎡)
 写真：岡田大次郎



神戸サイエンスパークの北西端に位置し、住宅街と商業施設に面した敷地に、ハイウィン株式会社という台湾の精密機械企業の日本法人本社兼工場を計画した。起伏のある周辺環境と呼应するよう、既存の地形を極力触らず幅120mのリニアな建物ボリュームを浮遊させた外観としている。ファサードの水平連続窓は、企業の基幹製品であるリニアガイドウェイをイメージしたデザインであり、企業イメージを周辺地域に発信している。シンメトリーな構成や楕円モチーフなど、風水を重んじる台湾企業らしい外観としながらも、外壁のセットバックにより緑地空間を整備し、3階部分はさらに外壁をセットバックさせ軒空間とするなど、周辺環境と調和するよう配慮した。内部空間は外部のリニアな構成を踏襲したデザインとし、近隣との見合いを防ぐように開口位置や高さを調整することで、遠景の景色が切り取られ、西神の豊かな自然を存分に享受できる施設を目指した。

所在地：兵庫県神戸市
用途：事務所・工場
竣工：2022.05
構造規模：S造 3階建
敷地面積：24,692.69㎡
建築面積：11,211.84㎡
延床面積：14,1430.79㎡
写真：伸和



兵庫県南西部にある聖徳太子ゆかりの太子町に建つ、夫婦+子ども(0歳)の住宅である。要望は、平家建・3台の駐車場・子供室にロフトを設けるなどであった。抜け道になっている南側道路は、頻繁に車の往来があり騒音と安全性を考え、道路側に3台の駐車場と、目隠しの生垣・駐輪場・前庭を設け、北側に建物を配置した。四方を部屋で囲まれた中庭側の三方を廊下で繋ぎ、主動線と裏動線の回遊動線とし、公・私空間を切り分けた。中庭に面したガラスの開放的な開口部から、光や風や空を取り込む。折れ戸を全開すると、LDKのワンルームと中庭が広がりのある一体的な空間となる。時の経過と共に、内外の自然素材の経年変化を楽しみ、若い家族の成長を優しく包み込む住まいになることを願う。

所在地：兵庫県揖保郡
用途：専用住宅
竣工：2022.12
構造規模：木造平家建
敷地面積：243.27㎡
建築面積：102.64㎡
延床面積：91.39㎡
写真：福澤昭嘉

会長動静	
12/26	池田市長面談
12/28	理事面談
1/ 4	正副会長会議 在阪建築 15 団体新年交礼会 日刊建設工業新聞社年賀交歓会
1/ 6	近畿建築士会協議会会長会議
1/ 9	総合資格学院合格祝賀会
1/10	大阪府収用委員会
1/13	全日本不動産協会賀詞交歓会
1/17	運営会議
1/18	日本建築士会連合会正副会長会議
1/19	日本建築士会連合会理事会
1/23	近畿建築確認検査協会会長面談
1/24	大阪府収用委員会 役員候補者選考委員会 大阪府建築士事務所協会交礼会
1/25	近畿建築士会協議会会長会議 近畿建築士会協議会



左より阪田委員、濱田副会長、岡本会長、瀧澤智子池田市長、岡田正文池田市副市長

1 月度 理事会報告

日時 1月17日(火) 16:00～18:00
場所 本会会議室
出席 理事 44/48名 監事 1/2名

(1) 入退会の承認			
(人)	12月	入会	退会等
正会員	2,368	4	7
準会員	31	0	0
特準会員	25	0	0
賛助会員	141	0	0
計	2,565	4	7

(2) 会計報告		
(円)	12月計	累計
収入	12,545,600	102,896,583
支出	9,616,662	101,657,379
差引	2,928,938	1,239,204

上表の当期経常増減明細を承認しました。

建築士試験の委託費、建築士登録業務の集中期、CPD 登録、行政委託事業等は堅調に推移していますが、活動全体的には低調傾向です。

(3) IT 促進に関するアンケート
IT 促進のためのアンケートを役員委員・会員に続き、一般・合格者・学生向けに実施し、新規会員の獲得に繋げ活動の充実に役立てます。提案のアンケート調査項目等を承認し、実施に向けての詳細調整は担当委員会に一任しました。

- 【報告】
- (4) 1月12日に全日本不動産協会と共催の「ミライ REBORN スマイプロジェクトコンペ」のプレスリリースを行い、募集活動を開始しました。
 - (5) 定時総会の議案書の経費縮減を目的として、正会員は議案書を Web 上で閲覧する方法への変更を建築人 4・5月号に同封して周知します。
 - (6) 会員名簿の印刷費縮減を目的として、掲載事項を整理し、全体的にページ数を削減します。
 - (7) 2/22～28にホーチミン市建築士会を訪問し、本会及び日本建築材料協会の3者で交流協定覚書を締結する予定です。
 - (8) 3/22～24に釜山広域市建築士会の総会に表敬訪問を行います。

大阪府による被災建築物応急危険度判定連絡訓練の実施

1月17日に大阪府都市防災課による標記訓練が実施され、本会も府と協定締結していることから参加しました。午前9時30分に南海トラフ巨大地震が発生したと想定し、府と市町村による状況調査を経て、在阪建築4団体に応急危険度判

定士の派遣要請が発出されました。本会では登録判定士へ Microsoft Forms による参加確認のアンケートを配信し、197名の回答を府へ報告いたしました。今後も継続的に訓練を行い災害発生に備えます。

枚方市災害対策本部訓練(図上訓練)に見学参加

1月13日に枚方市災害対策本部訓練が実施され、枚方市と災害時応援協定を結ぶ団体として本会の防災分科会委員が訓練を見学しました。具体的な豪雨時の河川の氾濫等を想定し、市長をはじめ関係課が対策本部に集まり災害情報の共有や市民が安全確保に向けた指示を行うなど実践しながらの訓練でした。水害タイムラインに基づく実施要項をもとに、浸水想定区域内住民の避難をマニュアル通りに進めるだけでなく、関係課が災害時に予想される課題を提示し対応策を検討するため見学者にも緊張感が伝わる内容でした。訓練により視覚化される課題もあり継続した防災訓練の重要性を認識しました。危機管理部と市協定を締結している地域の企業や団体との意見交換では、災害時には行政だけでなく市民・地域の企業や専門団体の協力の必要性を実感できる機会となりました。



和泉市新庁舎 見学会

日時：令和5年1月14日(土) 13:30～16:30
会場：和泉市役所
参加者：64名

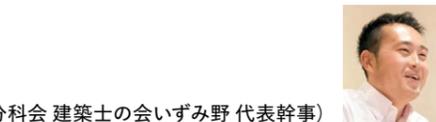
全国各地で公共施設の更新時期が訪れていますが、市民サービスの多様化への対応や激甚災害時の防災拠点としての重要性の高まりなど、市庁舎が市民の暮らしを守るためにより高機能化を求められる時代となりました。和泉市新庁舎は令和5年1月21日にグランドオープンを迎えましたが、その整備事業においては複数回の市民ワークショップを経て、公募型プロポーザルによりデザインビルド(設計・施工一括発注)方式で事業者決定されるなど、公共事業の新しい潮流を感じる建築プロセスで進められました。そこでこの貴重な機会に、地域を代表する建築プロジェクトの全貌を深く理解するために、施主・設計者・施工者それぞれのお話を聞く必要があると考えたことが今回のイベントの骨格を作り上げました。講演者1人目は「建替えに至った経緯について」市総務部総務管財室の大西和志氏、2人

建築相談室から(70) いまどきの相談

電話相談は平日に毎日やっていることからタイムリーな「いまどき」の相談もたくさん寄せられます。
工期の延長は誰のせい?
「現在外壁の修繕工事をしている。新型コロナによって材料費が上がったとのことで、追加費用の請求をされた。契約で決めた工期から一年近く遅れている。遅れた理由は新型コロナによって職人が来られないなど施工業者の都合もある。」という相談が2021年末にありました。新型コロナが流行したことによる影響は、未だ元通りに戻っていませんが、一年前よりもっとひどかったことは記憶に新しいと思います。新型コロナの流行が建築業界に与えた影響は、材料確保が難しくなったこと、そのため材料が高騰したこと、新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者になったりしたことで人の確保が予定通りいなくなったことなどがあります。この相

北條豊和(地域まちづくり委員会地域分科会 建築士の会いずみ野 代表幹事)

目は「基本設計のコンセプトについて」梓設計関西支社の池内一史氏、3人目は「建替え工事で苦労した点・仮設計画の内容について」浅沼組・深阪工務店・綜企画設計特定建設工事共同企業体の佐藤友成氏(浅沼組)にそれぞれ仕事を振り返っていただきました。続いて質疑応答では3者それぞれの立場に食い込む鋭い質問が相次ぎ、非常に盛り上がりを見せた時間となりました。その後の見学会においては、一般の方々が普段立ち入ることが出来ない議場や免震層の案内もあり、自治体を支えるハードの表裏を学ぶことができました。末筆になりましたが、今回のイベントを開催するにあたり前出の大西室長他和泉市の皆さま、そして前田部長他浅沼組の皆さまには大変お世話になりました。この場を借りて改めて厚くお礼申し上げます。



議場見学



免震層見学

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

談も実際には話を聞くくらいしかできず、電話相談では追加請求の正当性などは判断できません。遅れた原因がどちらにあるかで判断が変わります、と答えていました。
入手できない建材の代わり
「予定している建築材料が手に入らない。天井材に木下地の石膏ボード貼りを樹脂製のボードに変更したいが可能か?」という相談が2021年夏頃にありました。ウッドショックという言葉も記憶に新しいと思います。2021年3月頃から、木材の需給がひっ迫して木材の不足により価格が高騰しました。その後材料不足は、半導体不足などで給湯器をはじめとした住宅設備などにも影響が出てきます。未だ木材もコロナ前に戻ったというわけではありませんが、この頃は特に深刻でした。木材の入手が困難であったり、以前の2倍以上の値がついたり。相談内容については、物件の規模や施工範囲、法的

な制限などがわからない上での回答になりますが、相談者が建材屋さんだったこともあり、「入手できないことやコストカットを理由とした変更であっても法律を都合よく解釈することは危険である。できないときはできないと伝えた方が誠実ではないか。」と相談担当者は答えていました。
コロナ禍の影
ご紹介した相談のみならずコロナ禍によって大きく変わったことも多いでしょう。コロナ以前から人材不足は言われていましたが、さらに加速しました。材料や人件費の高騰は建築業界を直撃しました。資材不足もかなり深刻で、未だ解消したとは言えません。一方でリモートワークの実施、オンライン会議の普及など仕事の仕方も変わってきています。まだまだ変化の過渡期かもしれませんが、建築相談で「いまどき」の相談を見ることで、社会の変化も見えてきます。

Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の

評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。令和3年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業（補助金）における耐震評価機関となりました。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

業務内容
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画案の審査、評価　等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
(会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10％割引があります。

令和4年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習 第4回

2/4　CPD4単位

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。	
日時　2/4(土)　13：00～17：00	
テーマ　現場調査の方法1「民家調査の歴史と編年」	
講師　大場　修	
テーマ　現場調査の方法2「建築部材に残る刃痕の調査」	
講師　渡邊　晶	
会場　本会会議室(予定)	
定員　40名(申込先着順)	
受講料　本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員2,500円 会員外3,500円	
※詳細および申込は本会ホームページをご覧ください。	

令和4年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習 第5回

2/25　CPD4単位(予定)

本講習は、ヘリテージマネージャーのさらなるスキルアップを目的に行う講習会です。全6回の講座で保存活用、調査や修復技術などを学びます。	
日時　2/25(土)　13：00～17：30	
テーマ　「保存活用の考え方と実際 1・2」	
神戸大学名誉教授の足立裕司氏に実例を交えてのお話と、改修工事中の重要文化財 旧西尾家住宅の現場をご案内いただきます。	
会場　大阪シティアカデミー　第3会議室	
吹田市朝日町1-401	
さんくす1番館4階(JR吹田駅直結)	
定員　40名(申込先着順)	
受講料　本会会員及び大阪府ヘリテージマネージャー協議会会員2,500円 会員外3,500円	
※詳細および申込は本会ホームページをご覧ください。	

令和4年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)

2/17、3/16　CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。	
日程　2/17(金)、3/16(木)	
時間　8：55～17：00	
会場　本会会議室	
定員　各回20名(定員に達し次第締切)	
受講料　WEB申込み9,500円 郵送申込み10,000円	
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。	
http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015/2015-07-28-2.html	

令和4年度 大阪府ヘリテージマネージャースキルアップ講習 第4回

令和4年度建築士定期講習

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成31年度・令和元年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。	
日程・会場・定員	
3/9(木)　大阪府建築健保会館　50名	
時間　9：15～17：00	
受講料　12,980円(消費税含。事前振込)	
申込方法	
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。(平成31年度・令和元年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)ご記入	

後、大阪府建築士事務所協会事務局へ持参していただくか、簡易書留にて郵送してください。	
注)定員に達し次第、受付を終了します。	
▼建築技術教育普及センターHP	
https://www.jaeic.or.jp/koshuannai/teiki-koshu/kteiki/kt-koshujisshi2021.html	

既存住宅状況調査技術者講習

更新講習2/22　CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2019年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。	
日時　2/22(水)　13：30～16：50	
会場　本会会議室	
定員　20名(定員に達し次第締切)	
受講料　WEB申込17,000円 郵送申込17,600円	
申込　日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。上記以外にオンライン講習も受付中です。	

ミライREBORNスマイ プロジェクト

一医・食・住でミライの健康な都市生活

主催　公益社団法人全日本不動産協会	
共催　公益社団法人大阪府建築士会	
●募集目的	
本プロジェクトでは、入賞作品の中から3DCG映像等の作品を共創(翻案・制作)し、2025年大阪・関西万博「大阪ヘルスケアバビロン」での展示・公開を予定しています。	
●募集部門・応募資格	
①学生・一般の部	
応募資格はとくになし。大学、大学院修士・博士課程、短期大学、専修学校、高等専門学校・その他の就学者を含む。	
②建築家・デザイナーの部	
建築・都市デザイナー、グラフィックデザイナー、ビジュアルアーティストなど幅広いジャンルに属するプロフェッショナルのクリエイター。	
●審査委員	
樋口真嗣(審査委員長。映画監督・特技監督)	
赤井孝美(ゲームクリエイター、アニメプロデューサー)	
秋吉浩気(建築家・メタアーキテクト)	
内田友紀(都市デザイナー)	
齋藤精一(クリエイティブディレクター)	
重松象平(建築家)	
中川エリカ(建築家)	
近藤良一(大阪の住まい活性化フォーラム会長)	
豊田崇克(一般社団法人ソフトウェア協会副会長)	
●賞・副賞	
最優秀賞	
200万円・賞状、トロフィー(1点×2部門=計2点)	
優秀賞	
50万円・賞状(2点×2部門=計4点)	
佳作	
30万円・賞状(4点×2部門=計8点)	

特別賞	
50万円・賞状(部門を問わず全体で2～3点程度)	
●募集要項公表	1/12(木)
●応募登録期間	1/12(木)～5/10(水)
●応募受付期間	6/12(月)～8/10(木)
●問い合わせ	
公益社団法人大阪府建築士会	
メール:mirai.reborn.sumai@aba-osakafu.or.jp	

令和4年度建築士試験合格者お祝い企画

“ささっ”と描けるスケッチパース～今年は2回シリーズで～

2/2、3/9　CPD各2単位

令和4年度建築士試験に合格された皆様に向けてのお祝い企画です！	
お客様との打ち合わせの際に“ささっ”とスケッチパースが描けたいらいいな…と思われたことのある皆様へ！	
一昨年、昨年と実施して好評を期した企画を、今年は下描きから彩色まで2回に分けてじっくり取り組んでいただきます。	
一定の法則(透視図、遠近法、陰影のつけ方など)に従って描くパースに、絵心の有無は問題ありません。描き方のコツを知ることによって、説得力のあるパースが描けるようになります。打ち合わせを円滑に進めるツールとして使いこなせるよう、是非コツを掴んでください。もちろんどちらから1回だけの参加もアリです。	
日時　1回目　2/2(木)　18：30～20：30	
2回目　3/9(木)　18：30～20：30	
場所　本会会議室	
講師　藤山　文(大手前短期大学インテリアパース講師)	
定員　25名(申込み先着順)	
参加費　各回共通	
会員1,500円　会員外2,000円	
R4年度建築士試験合格者	
会員1,000円　会員外1,500円	
2回参加者は2回分合計金額より500円割引	

「緩ませない」「脱落・破断させない」ボルトの設計と留意点

2/8　CPD3単位

本講習は設計者・監理技術者として、ねじの適切な設計方法と留意点、お客様への適切な維持管理の方法を説明するものです。ねじに関する事故例の紹介、ねじの損傷や緩む原因、緩ませないためには何を管理する必要がありますのかが等について解説します。	
日時　2/8(水)　14：00～17：00	
会場　大阪府建築士会	
受講料　建築士会会員3,500円 後援団体会員4,500円 一般5,500円	

枚方市総合文化芸術センター見学会

2/16　CPD2単位(予定)

演劇や音楽公演、発表会など様々なジャンルの公演に対応する高性能ホール建築。内装

壁面にレンガを採用し豊かな響きと遮音性にも優れています。このホール建築をいかに設計したか?という観点で、設計者に解説してもらうとともに苦勞した点、この建築を成立させるための工夫等を語っていただきます。	
日時　2/16(木)　14：15～16：15	
会場　枚方市総合文化芸術センター	
受講料　建築士会会員2,500円 後援団体会員3,500円 一般4,500円	

クラウドファンディングを活用し、本会と地域住民がまちづくり活動を応援します

12/21～2/17

本会は平成10年より大阪府内で活動する建築士を含む合計40団体の地域貢献活動に助成を行い、大阪のまちづくり活動の活性化に貢献してきました。本年度も地域のまちづくり活動を地域住民が応援するという理想の姿を目指し、クラウドファンディングによりその資金を募らせていただきます。ぜひご支援賜りますようお願い申し上げます。	
テーマ　まちづくりびびと応援プロジェクト	
募集期間　12/21(水)～2/17(金)	
目標金額　45万円	
支援金額　500円、1,000円、10,000円、50,000円	
プラットフォーム　READYFOR(All in・寄付型)	
リターン　ご支援頂いた助成活動の年間活動内容のご報告等。	
ご支援頂くに際し、READYFORへのご登録が必要になります。詳細はHPをご覧ください。https://readyfor.jp/projects/osakafushikai2023	

建築紛争セミナー7

リフォーム工事をめぐる諸問題

2/20　CPD2単位(予定)

本会は大阪弁護士会と共催で「建築紛争セミナー」を毎年開催しております。今回のテーマは「リフォーム工事をめぐる諸問題」です。リフォーム工事のトラブルが発生した場合の法的・建築技術的な処理の仕方について、リフォームの契約形態・リフォームの	
---	--

種類など多角的に分析して弁護士・建築士が検証・議論します。実際に起こっているトラブル事例の紹介を交えながら、法的・建築技術的注意点について解説します。	
日時　2/20(月)　18：00～20：00	
会場　大阪弁護士会館	
(大阪市北区西天満1-12-5)	
会場・オンライン配信併用	
会場定員　60名(定員に達し次第締切)	
参加費　無料	

食から見た世界の暮らしと文化

シリーズ1　ベトナム

3/18　CPD2単位(予定)

「食」はその国の文化であり国民を支える上で大切なバックボーンです。今回は、ベトナム料理の軽食バインミー等の食文化を通じて、ベトナムの暮らしや文化を知る勉強会を企画します。また、2月22日～28日に実施する本会海外研修旅行「ベトナム」の報告会を合わせて行います。なお、2023年は日越外交関係樹立50周年を迎えます。この勉強会がベトナムの文化をより理解する一助となれば幸いです。	
日時　3/18(土) 13:00～16:00(終了予定)	
場所　本会会議室	
定員　20名(申込先着順)	
参加費　会員2,000円　会員外2,500円(バインミー、ベトナムコーヒー等軽食付き)	
学生・本会新入会員(2020年度以降入会)1,000円	
※懇親会　ベトナム料理店を予定	

武庫川女子大学・甲子園会館特別見学会

～旧甲子園ホテル→ライト様式にふれるひととき～

令和4年度みやざき材活用施設設置支援事業

米建築家F・L・ライトの愛弟子・遠藤新氏の設計による日本に現存する数少ないライト様式の建築・武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル)をじっくり見学します。ライトゆずりの変化に富んだ空間に建物の随所に見られるライト様式の幾何学文様に加え打ち出の小槌、市松格子等々、日本の伝統的意匠も取り入れられた建物です。会館の特色・魅力でもある素材によるレリー	
---	--

フ表現やディテールの豊かさそれらを見ても飽きることがありません。ぜひこの機会にライト建築を体感してみてください。	
日時　4/12(水)　14：00～16：00	
(見学時間は約90分)	
集合場所　武庫川女子大学正門付近	
兵庫県西宮市戸崎町1-13	
会場　武庫川女子大学・甲子園会館	
(旧甲子園ホテル)	
参加費　会員1,500円　会員外2,000円	
定員　20名	
※企画内容については若干変更になる場合があります。	

建設士法第27条の2第7項に基づく開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

2/10

行政からのお知らせ

森林と都市の交流展・高知

2/16、2/17

高知県内の木材・和紙・漆喰などの建築内装材をご提案します。	
日時　2/16(木)、2/17(金)	
いずれも10：00～17：00	
会場　大阪南港ATC　ITM棟2F	
セントラルアトリウム	
実施内容	
内装空間に使える高知の素材(木材製品、土佐和紙、土佐漆喰)の展示、セミナー(2/17開催で調整中)、協働の森パートナーズ企業の高知の森を守る取組などの展示	
入場料　無料	
主催　高知県	
事務局　一般社団法人高知県木材協会	
Tel.088-883-6721	

2022年度 GBRC建築技術セミナー

「SDG sへの取り組みに役立つ建築技術」～実務におけるヒント～

2/22

構造グループは既存杭や木材利用について、避難防災グループは避難安全検証法関連について、材料グループはJASS5の改訂やコンクリートと環境について、確認検査課は長時間準耐火構造による中高層建築物のプロジェクトについて外部の講師をお招きしご講演いただきます。	
日時　2/22(水)　12：50～17：30	
会場　大阪市中央公会堂	
参加費　無料	
主催　(一財)日本建築総合試験所性能評定課	
Tel.06-6966-7600	
詳細・申込　主催団体のホームページ参照	

詳細・申込　山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室

Tel.0985-26-7156

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/miyazaki-sugi/shigoto/ringyo/20210716.html

その他のお知らせ

建設士法第27条の2第7項に基づく開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

2/10

本研修会は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講する(任意)ことで、資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。	
日時　2/10(金)　10：00～16：30	
会場　大阪府建築健保会館6階ホール	
定員　45名	
受講対象者	
建築士事務所開設者及び管理建築士	
受講料　主催団体会員9,000円	
後援団体会員13,000円	
一般15,000円	
主催　(一社)大阪府建築士事務所協会	
(一社)日本建築士事務所協会連合会	
詳細・申込　主催団体のホームページ参照	

建築士事務所開設者及び管理建築士	
受講料　主催団体会員9,000円	
後援団体会員13,000円	
一般15,000円	
主催　(一社)大阪府建築士事務所協会	
(一社)日本建築士事務所協会連合会	
詳細・申込　主催団体のホームページ参照	

2022年度 GBRC建築技術セミナー

「SDG sへの取り組みに役立つ建築技術」～実務におけるヒント～

構造グループは既存杭や木材利用について、避難防災グループは避難安全検証法関連について、材料グループはJASS5の改訂やコンクリートと環境について、確認検査課は長時間準耐火構造による中高層建築物のプロジェクトについて外部の講師をお招きしご講演いただきます。	
日時　2/22(水)　12：50～17：30	
会場　大阪市中央公会堂	
参加費　無料	
主催　(一財)日本建築総合試験所性能評定課	
Tel.06-6966-7600	
詳細・申込　主催団体のホームページ参照	



令和5年10月から消費税込インボイス制度が始まります。

消費税インボイス制度

登録を予定されている事業者の方へ登録申請はお早めに!

説明会を開催中

説明会ページへ

特設サイトへ

登録申請手続は、かんたん・便利♪**e-Tax**をご利用ください!!

「e-Taxソフト(WEB版)」をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。

e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。

個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

制度について詳しくお知りになりたい方は、国税庁ホームページ(https://www.nta.go.jp)の「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

① 制度の解説動画 ② AIを活用したチャットボット ③ インボイスコールセンター などをご案内しております




新しい文化芸術拠点 枚方市総合文化芸術センター

枚方市 都市整備部 施設整備室 施設計画課 課長 芝 昌和



○枚方市の概要・本センターへのアクセス
枚方市は西に淀川が流れ、東には緑豊かな生駒山系の山々があります。江戸時代には京街道の宿場町として栄え、近代になると大規模な住宅団地の開発により人口が急増し、現在は人口約40万人の中核市です。また、大阪と京都の中心に位置し、京橋駅から15分、大阪駅と祇園四条駅からそれぞれ27分とアクセスの良さが魅力です。
本センターは、1日約9万人が利用し本市の中心となる「枚方市駅」から徒歩5分と利用しやすい位置にあります。駅からは本センターに合わせて整備したエスカレーターと歩行者デッキを利用することで、2階の大・小ホール入口まで信号待ちなくスムーズにアクセスが可能です。

○異なる特徴をもつ3つのホール

【大ホール】

音楽や演劇などの文化公演をはじめ、集会など多目的に使用可能な高機能ホール。内装壁面にレンガを採用しており、豊かな響きと遮音性にも優れています。

《客席》

1,468席（1階席：836席、2階席：392席、3階席：240席）身障者用含む。その他、親子席あり。）

《楽屋》7室（定員80名）

《舞台装置》走行式音響反射板、オーケストラピット、舞台せり

《舞台寸法》主舞台：間口20.0m×奥行15.6m×高さ11.5m、上手舞台：間口10.9m×奥行16.5m、下手舞台：間口11.3m×奥行16.5m

下：大ホール写真



【小ホール】

演劇や音楽公演、発表会など、様々なジャン

ルの公演に対応する高機能ホール。内装壁面にレンガを採用し豊かな響きと遮音性にも優れています。

《客席》325席（身障者用2席、臨時席14席含む。その他、親子室2室あり。）

《楽屋》3室（定員30名）

《舞台設備》吊り下げ式音響反射板

《舞台寸法》主舞台：間口13.9m×奥行9.9m×高さ8m、上手舞台：間口7.4m×奥行9.5m、下手舞台：間口7.1m×奥行9.5m

下：小ホール写真



【イベントホール】

小規模演劇やミニコンサート、講演会などに利用可能な平床の多目的ホール。専用の搬入スペース、控室、パントリーを備え、飲食を伴うレセプション、パーティーに対応。後方の可動壁を全開すると、エントランスロビーとの一体的な利用も可能。

《客席》ホール形式：200席程度、スクール形式：120席程度

《舞台設備》収納式舞台

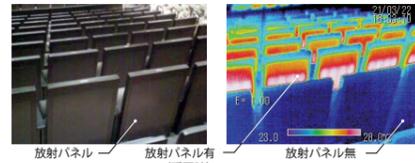
下：イベントホール写真



○劇場初の客席放射空調

大、小ホールでは劇場初の放射空調を採用し、客席背面と天井高さが低い1階席及び2階席後部の天井面に放射パネルを配置（天井設置は大ホールのみ）し、不快な気流が生じない快適な鑑賞空間となっています。

右上：放射空調利用時写真



○環境への配慮

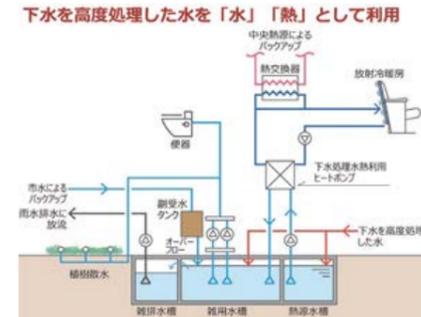
【緑地の確保】

本センター敷地は「枚方市みどりの基本計画」の緑化重点地区に指定されており、敷地面積に対して30%の緑被率を確保しています。施設前広場、屋上緑化等により市民が集えるみどりの空間を創出しています。

【下水道高度処理水の再利用】

未利用エネルギーである、下水道高度処理水を水、熱として再利用しています。

下：イメージ図



これらの取り組みが評価され、おおさか環境にやさしい建築賞（大阪府知事賞）、第11回みどりのまちづくり賞（CLA関西支部長賞）、第41回大阪都市景観賞 建築賞（審査員特別賞）を受賞いたしました。

最後となりますが、本格的な演奏や芝居など文化芸術を感じられる本センターへのご来館を心よりお待ちしております。

○施設概要

建築面積：6,906.76㎡

延べ床面積：14,383.75㎡

構造：RC造（一部SRC造、S造）

階数高さ：地下1階、地上5階 高さ29m

下：施設外観写真



豊中市南部地域活性化の拠点「庄内コラボセンター・ショコラ」が令和5年（2023年）2月に誕生

豊中市 市民協働部 次長 別所貴美子



豊中市の概要

豊中市は、現在人口約40万人の中核市で、市内には阪急、北大阪急行、モノレールなどの鉄道が通り、中国自動車道、名神高速道路、阪神高速、新御堂筋の道路網があり、大阪国際空港の玄関口でもある交通利便性が非常に高い都市です。また大阪市の北側に位置するベッドタウンであることから、住宅都市、文教都市として発展してきました。

南部地域の施設再編のはじまり

本市は南北に長く、市域の変遷から北部、中部は主に住宅地として、南部は商工業を中心に発展し、住工混在地域となっています。昭和の時代には、駅前に集積する商業は賑わいを生み、ものづくり企業の集積はまちに豊かさをもたらしました。一方で、時代が進み、本市の中でも南部地域の少子高齢化が顕著になるにつれ、まちの活気に陰りが見え始めていました。そこで本市は、南部地域に散在する老朽化した公共施設などの再整備に加え、南部地域の活性化と課題解決のために求められる施設とその機能を改めて抽出することとし、平成23年度から庁内での検討を開始すると共に、市民会議やラウンドテーブルを重ね、「(仮称) 南部コラボセンター基本構想」を平成25年度に策定いたしました。

「子どもに夢を！地域に輝きを！南部地域がまとまる、つながる、元気になる」

本構想のビジョン、キャッチフレーズです。

(仮称) 南部コラボセンター改め、庄内コラボセンターと命名し、センターには老朽化した施設、市役所出張所や公民館、図書館、介護予防センター、保健センターの移転のほか、子育てを応援する「子育て支援センターほっぺ南部分室」や「こども・教育総合相談窓口」、就労や生活困窮の支援を行う「しごと・くらしセンター」、市民団体や地域団体の支援を行う「市民公益活動支援センター」を新たにオープンします。

義務教育学校との一体整備

本市では南部地域のもう一つの課題として、6小学校、3中学校のいずれも小規模校化が進行し、人間関係の固定化や教育活動の制約などの課題が深刻化していることから、自己肯定感や自己有用感を高めるための魅力ある学校づくり・小中一貫校である義務教育学校「庄内さくら学園」の建設が決定しました。そこで、庄内さくら学園と庄内コラボセンターについて、平成30年度基本設計、令和元年度詳細設計、令和2年度庄内小学校、第六中学校の除却を行い、その敷地に令和3・4年度の2か年をかけて建設工事を行いました。



庄内コラボセンター 外観

庄内コラボセンター・ショコラの概要

地上4階、延床面積約8,300㎡、駐車場約40台の施設に、9つの機能が入る複合施設です。各階は世代をテーマに施設配置をし、また1階エントランスは市民の方が気軽に立ち寄っていただけるよう、大型書架やカフェスペースを設え、館内には新たにデジタルサイネージを配置し、館内案内やイベント等のお知らせをしていきます。

ショコラ各階の施設配置

4F	庄内公民館貸室、庄内コラボセンター貸室、保育室、防災倉庫
3F	庄内出張所、豊中しごと・くらしセンター、庄内介護予防センター、庄内コラボセンター貸室
2F	庄内図書館、こども・教育総合相談窓口、庄内コラボセンター貸室
1F	市民公益活動支援センター、庄内保健センター、子育て支援センターほっぺ南部分室、総合案内(※)

※庄内公民館兼庄内コラボセンター事務所



庄内コラボセンター 1階 エントランス



庄内コラボセンター 2階 庄内図書館

庄内コラボセンター・ショコラのこれから
施設の名称「庄内コラボセンター」や愛称「ショコラ」、ロゴマークは市民公募で決定しました。市民相互及び世代間の交流や地域課題の解決、にぎわいづくりなどを目的とする施設ですが、何より地域が、地域の皆様が元気になるような取組みをこの場所で実施していくこと、継続していくことが大切と思っています。その主役は、市民、事業者、市民公益活動団体などのみなさまです。みなさまと連携・協力して、市民一人ひとりの人権が尊重される南部地域のまちづくりの拠点となることをめざして取り組んでいきます。



ショコロロゴマーク

水から、ドラマチックに。



SANEI

SANEI 株式会社 www.sanei.ltd

記憶の建築

街並みを形づくる集合住宅の残影

同潤会青山アパート 一九二七年／二〇〇三年解体

文・写真 松隈 洋 [京都工芸繊維大学教授]

今年二〇二三年は、一九三三年九月一日の関東大震災から一〇〇年という節目の年にあたる。マグニチュード七・九の巨大地震で発生した大火災により、江戸情緒を色濃く残す木造の街並みはことごとく焼失し、罹災者百五十万人、死者・行方不明者十四万人、家屋損壊五十七万戸に及んだ。そして、この未曾有の災害をきっかけに、都市の不燃化と耐震化が急速に図られていくことになる。この時、内外から寄せられた総額五千九百万円の

救援義損金の中から一千万円を支出し、「庶民生活の復旧再生の方策」として、一九二四年五月、「罹災者生活安定の根本をなす施設」である「住」問題の解決のために設立されたのが財団法人同潤会だった(『同潤会十八年史』一九四二年)。

当初は、行き場を失った罹災者たちが雨露を凌ぐために応急に建てた粗末なバラックを解消するための木造長屋の供給が事業の中心だったが、翌一九二五年度からは、政府による敷



店舗への改装が進んだ表参道沿いの外観
一九九三年撮影/筆者



集合住宅の面影を残す時代の外観
一九七四年撮影

地買収費の交付で取得した東京と横浜の交通至便な場所に、恒久的な耐震耐火の鉄筋コンクリート造アパートの建設にも着手する。こうして、一九二七年に現在の墨田区押上町に竣工する中ノ郷を皮切りに、青山、代官山、清砂通、上野下等から、最後の一九三六年の江戸川に至るまで、合計十六カ所、延べ約二千八百戸が建設されていく。それは、実際には、銀行員や官吏、軍人ら恵まれた社会階層のための高級アパートであり、目標に掲げられた「庶民生活」の「生活安定の根本をなす施設」とは程遠い存在であったが、文字通り、我が国における都市の近代化と集合住宅の出発点と呼べるものだった。

だが、その事業は、一九三七年の日中戦争勃発と戦時体制強化による建築資材統制、軍需産業を担う労働者のための公営住宅の大量建設を担う住宅営団の発足によって、わずか十八年で終焉し、同潤会も解散する。そして、敗戦後、居住者の意向で東京都が継承した女性専用の大塚女子アパートを除き、その多くは個人に譲渡され、公的な形で事業が再開されることはなかった。また、だからこそ、世代交代と老朽化の進んだ二〇〇〇年前後に再開発で次々と姿を消し、一棟も現存しない。それでも、その残影が繰り返し記憶に蘇るのは、東京表参道の街並みを七十六年間も形づくっていた青山アパートの存在が大きいのだと思う。それは何故なのだろうか。建築技師として設計に携わった柘植芳男は、次のような回想を書き残している。

「私は大正十四(一九二五)年三月東大建築学科卒業と同時に当時同潤会

理事であった東大内田祥三先生の薦めで同会に入った。(中略)何しろRC造アパートといえば日本のパイオニアとも云うべきもの、参考資料などひとつもない。僅かにドイツのタウト等を中心とする小住宅、集合住宅、イギリスの田園都市計画位ですべて暗中模索と試行錯誤の連続であった。(中略)最初に関わったのは中ノ郷アパートであった。(中略)早くから内田先生の下で岸田日出刀教授が基本設計を作っていた。次に担当したのが青山アパートである。これについていち早くクレームをつけに来たのが近所に住む長岡外史中將である。「神聖な参宮通りに西洋の貧民長屋のようなアパートを建てると聞いた。もし窓に蒲団を干したり、オムツを干すようなことがあつたら誠に恐れ多い。是非計画は中止してくれ」というものであった。決してそんなものではないと納得してもらうのには骨を折った。そんなこともあって、それらの対応には格段の計画をした。まず建物を道路から少し後退させ、そこに植樹帯を設けてなるべく建物を遮断した。さらに屋上のパラベットを高くして、洗濯場と物干場を設けベランダには絶対に物を干させないようにした。」(柘植芳男「同潤会の思い出」マルク・ブルディエ『同潤会アパート原景』住まいの図書館出版局一九九二年)

この証言にもあるように、今も櫛並木の緑陰が美しい表参道は、一九二〇年に国家的事業として創建された明治神宮の造営に合わせて整備された街路だった。そのような特徴的な場所ゆえに求められた高いハードルがあったからに違いない。他の場所に建てら

れた同潤会とは異なり、採算性や敷地の効率的な利用を度外視した、生活臭の露出を抑えた控え目な外観の意匠や、植樹帯を設け、前面道路から後退させた陰影のある落ち着いたたたずまいが実現したのである。また、最寄りの原宿駅舎も、明治神宮の造営に続き、震災翌年の一九二四年に建設されたものだった。ヨーロッパの田舎町にありそうな、このハーフティンバー様式の都内最古の木造駅舎は、太平洋戦争の戦火にも耐えて、八〇年近く現役で使われてきた。しかし、二〇二一年の東京五輪開催のための再整備により、あつけなく解体されてしまった。こうして、今から振り返れば、大日本帝国憲法下ではあったものの、七〇万

mの広大な鎮守の杜と木造駅舎、その表参道として整備された櫛並木の街路、そして、ドイツやイギリスの事例とも遜色のない質を持つ集合住宅、というたぐい稀な組合せによって、普遍性を持つ近代的な街並みが形づくられていたのである。

さて、すでに跡形もなく姿を消してしまつた街並みだが、最後に、二枚の古びた写真を紹介しておきたい。驚いたのは、筆者がこの街並みに初めて接した一九七四年の写真だ。訪れたのは高校二年の夏休み、父の提案で進学希望の大学を見て回ると、弟と三人で寝台特急ブルートレイン「富士」に地元大分から乗車し、東京到着後の早朝だったと記憶する。ここに写るのは、人も車もまばらな表参道と鬱蒼とした櫛並木、その奥にたたずむ同潤会青山アパートの織り成す日常的な光景の透明感と静かに流れる時間だ。現在の商業化された東京が失つたものとは何なのか。繰り返し想起したいと思う。



飯盛山の自然豊かな景観に調和した外構デザインと植栽



誇りに思える景色をみんなで作っていくことで、地域の価値を向上させ続ける、持続性のある街へと変わっていく